

トンネルの日 特別企画
トンネル工事現場 親子見学会
—みなとみらい線のトンネル工事現場を探検してみよう—



2026年5月15日
(一社)日本トンネル技術協会

日本トンネル技術協会は、トンネルや地下空間の建設や、安全に使い続けるための維持管理に関する調査・研究等を行っている団体です。1975年に設立され、昨年、設立50周年を迎えることができました。

この50周年を記念し、協会の設立日である8月1日を「トンネルの日」とし、トンネルや地下空間についてより深く知っていただき、協会の活動にも関心を持っていただくことを目指しています。

今回、トンネルのつくり方や役割について楽しく学んでいただけるよう、「トンネル工事現場 親子見学会」を開催します。実際の工事現場を見学できる貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

1. 開催日時:2026年8月1日(土) 9:30~12:00
2. 見学場所:みなとみらい21線車両留置場建設工事(土木工事)
3. 募集対象:小学1年生から6年生の児童および保護者
4. 募集人員*:最大親子15組程度 計30名(保護者1人につき児童2名まで)
※申込は先着順で受け付け、定員になった時点で受付を終了します。
5. 集合場所:現地集合(別紙 地図参照)
6. 参加費:無料(集合場所までの交通費は参加者負担)
- 7.安全について:
 - 動きやすい服装(スカート・ハイヒールは不可)と運動靴でお越しください。
 - 現場はきれいにはしていますが、服や運動靴が若干汚れる可能性があります。
 - 見学会事務局および関係者が、集合から解散まで同行します。
 - 現場見学の際、参加者へはヘルメット、手袋を用意します。
 - 損害賠償保険と障害保険に加入します。

8.応募方法:

7月22日(水)正午までに、本会ウェブサイトの申込みフォームより、お申し込み下さい。
お申込を確認した後、受付番号をご連絡いたします。

申込みフォーム:<https://www.japan-tunnel.org/20260801>

【連絡窓口】日本トンネル技術協会 トンネルの日 親子見学会 受付係
メール:event@japan-tunnel.org

みなとみらい21線車両留置場建設工事について



(1) 見学場所

みなとみらい線車両留置場整備事業は、夜間等に電車を留めて置く施設である「車両留置場」を終点駅である元町・中華街駅の先に整備する事業です。みなとみらい線車両留置場は、元町・中華街駅から公用地である港の見える丘公園に入るようなルートを通っています。車両留置場は地上からの深さ19m～50mのところにトンネルを掘って構築します。



横浜高速鉄道(株) HP より引用

(2) 見学行程

9:30 集合 (別紙参照)

9:30～9:50(20分) ・建設の仕事についての説明

・トンネル工事およびみなとみらい21線車両留置場建設工事についての説明

9:50～11:30(100分) みなとみらい21線車両留置場建設工事 見学

建設機械の試乗体験

11:30～12:00(30分) 質問の時間

12:00 解散 (集合後の時間は目安です。状況により前後する場合がありますので了解願います。)

◆◆◆ 集合場所案内図◆◆◆
元町・中華街駅から約15分（徒歩）

